

システイーナ礼拝堂天井画完成 500 周年記念式典

開館 15 周年記念イベント **ミケランジェロの偉業**

2012年10月27日(土) 15:30 ~ 18:30

本年10月は、ミケランジェロがシステイーナ礼拝堂の天井画を完成させて500年の節目を迎える、記念すべき年にあたります。そこで大塚国際美術館(館長:大塚明彦、所在地:徳島県鳴門市)では、ヴァチカンのシステイーナ礼拝堂を原寸大に立体再現した「システイーナ・ホール」においてルネサンス期の天才ミケランジェロを称えるイベントを開催いたします。

この企画には神戸バイブルハウスのご協力も賜り、ヴァチカン駐日大使チェノットウ大司教、カトリック大阪大司教区池長大司教も駆けつけてお祝いの式典を執り行っていただく運びとなりました。また、この日は開館時間を20時まで延長するほか、ミケランジェロの作品に焦点をあてた解説やテレマンアンサンブルによるコンサートを行うなど、陶板名画美術館ならではの特別な一日をお過ごしいただけます。

来館されるお客様を開館当初から迎え続けてきた間口約19m×奥行約40m×高さ約15mという壮大な「システイーナ・ホール」を通し「神のごとき」と称えられたミケランジェロの偉業をこれまでにない視点から見つめることで、来年の15周年に向けて、新たな驚きと感動をお伝えしたいと考えております。

報道関係の皆様には、ご多忙とは存じますが、ぜひご取材賜りますようお願い申し上げます。

開館 15 周年記念イベント **ミケランジェロの偉業** 2012年10月27日(土)

天井画解説 ミケランジェロの偉業 【時間】15:30 ~ 16:10

登壇者 大塚国際美術館 理事 学芸部 部長 岡村修二
大塚オーミ陶業 代表取締役社長 大杉栄嗣

御言葉(みことば)の祭儀 【時間】16:20 ~ 16:45

登壇者 ヴァチカン駐日教皇大使 ジョゼフ・チェノットウ 大司教
カトリック大阪大司教区 池長 潤 大司教
同上 松浦 悟郎 補佐司教

コンサート 【時間】17:00 ~ 18:30

出演 テレマン室内オーケストラ・テレマン室内合唱団

ご参考

ヴァチカン駐日教皇大使 ジョゼフ・チェノットゥ 大司教 略歴

1943年10月13日、インド・ケララ州、シリア・マラバル典礼カトリック教会のエルナクラム・アンガマリー大司教区のココマンガラム生まれ。

1969年5月4日、司祭叙階。教会法博士。

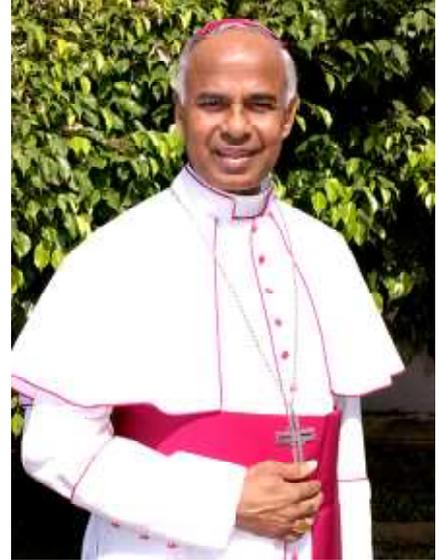
1977年からカメルーン、トルコ、イラン、教皇庁國務省外務局で、また臨時教皇大使代理としてベルギー、スペイン、北欧諸国、中華民国（台湾）で活動。

1999年8月24日、ミレヴィイ名義大司教また駐中央アフリカ共和国およびチャド共和国教皇大使に任命。同年10月30日、司教叙階。

2005年6月15日、駐タンザニア連合共和国教皇大使に任命。

英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、中国語を話す。

2011年8月15日（月）教皇ベネディクト十六世により、駐日教皇大使に任命される。



テレマン室内オーケストラについて

1963年に指揮者・延原武春が結成。延原の指揮のもとテレマン作曲「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」等数々の作品を本邦初演。主な受賞歴は、「大阪文化祭賞」、「音楽クリティッククラブ賞」、「大阪府民劇場賞」、「文化庁芸術祭優秀賞」（関西初）、「サントリー音楽賞」（関西初）等。

1990年バロック・ヴァイオリンのサイモン・スタンデイジをミュージック・アドヴァイザーとし、バロック楽器（18世紀当時の楽器およびそのレプリカ）による演奏を始める。2003年にはドイツのバッハ・アルヒーフから招聘を受け「バッハ フェスティバル in ライプツィヒ 2003」に出演し、C.P.E.バッハ「チェンバロ協奏曲 Wq1」を世界初演した。

2006年からはクラシカル楽器（古典派の時代に使用された楽器およびそのレプリカ）による演奏を始め、2007年には同楽器によるF.J.ハイドンのオラトリオ「四季」を好演。「大阪文化祭賞グランプリ」を受賞した。2008年にはクラシック楽器による「ベートーヴェン交響曲全曲&荘厳ミサ曲」を連続公演。これがきっかけとなり延原はドイツ連邦共和国より功労勲章を受章した。2009年よりテレマン室内管弦楽団をあらため「テレマン室内オーケストラ」と改称。

2012年よりバロック・ヴァイオリンのU.ブンディースを首席客演コンサートマスターとし、内面を重視した「ドイツ系古楽」の構築に力を入れることに。ブンディースはドイツに於いて同楽団のチェンバロおよびフォルテピアノの高田泰治とともにデュオ活動を開始している。既にレコーディングもすませ、二人の音楽的なパートナーシップは強固なものとなりつつある。またソロコンサートミストレスの浅井咲乃もブンディースのもとで研鑽を積みつつあり、延原、ブンディース、高田、浅井という音楽的な絆が同団体の新たな「柱」を形成しつつある。

システイーナ礼拝堂天井画について

旧約聖書にあらわされた天地創造からノアの洪水までの人類初期の歴史を中心に、複雑な図式が関連しあつてキリスト教の世界観が象徴されている。彫刻家ミケランジェロは、何らかの理由でこの天井画の制作を命じられる。足場の上で天井を見上げての苦難の作業は4年にも及ぶが、結果としてこの天井画は盛期ルネサンス絵画の最高傑作となり、ローマにおける絵画の黄金時代を代表するものとなった。ミケランジェロの天才は特に人体表現に顕著に表れ、すべての人体の動作や姿態に深い意味が与えられている。

その天井画が完成したのが1512年10月31日とされている。500年前のミケランジェロの偉業を原寸大で体験できる貴重な空間として、1998年の開館当初から天井画の中央部分や最後の審判を大塚国際美術館は陶板により展示している。また、開館10周年記念事業として、2007年には天井画の残り部分も完成し、日本に居ながらにしてミケランジェロの絵画における業績を目の当たりにする事が可能となった。

大塚国際美術館とは

渦潮を臨み緑豊かな鳴門公園に位置する「大塚国際美術館」。古代壁画から世界25ヶ国190余の美術館が所蔵する現代絵画まで、1,000点を超える世界の名画を特殊技術によって、原寸大の陶板で忠実に複製しています。約4kmに及ぶ鑑賞ルートには、古代遺跡や礼拝堂を現地の空間そのままに再現した立体展示のほか、レオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晚餐」、ゴッホ「ヒマワリ」、ピカソ「ゲルニカ」など、美術書などで一度は見たことがあるような名画を美術史の流れに沿って展示しています。

なかでも、ミケランジェロが描いた天井画と正面祭壇壁画「最後の審判」とともに立体再現した「システイーナ・ホール」の迫力は必見です。

大塚国際美術館

住所：徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内

TEL：088-687-3737

FAX：088-687-1117

<http://www.o-museum.or.jp/>

開館時間：9時30分から17時（入館は16時まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

正月明けに連続休館あり / 8月無休

入館料：小・中・高生 520円

大 学 生 2,100円

一 般 3,150円

*20名以上の団体は10%割引



環境展示：「システイーナ・ホール」

《本件に関するお問い合わせ先》

大塚国際美術館 学芸部 広報担当 坂本明子

TEL：088-687-3737 FAX：088-687-1117

e-mail：info@o-museum.or.jp

システィーナ礼拝堂天井画完成500周年記念式典

大塚国際美術館開館15周年記念イベント

ミケランジェロの偉業

2012年10月27日(土)

大塚国際美術館 システィーナ・ホール

参加無料 ※要入館料

当日は20:00まで開館

天井画解説 ミケランジェロの偉業

15:30~16:10

登壇者 大塚国際美術館 理事 学芸部 部長
岡村 修二
大塚オーミ陶業 代表取締役社長
大杉 栄嗣

ミケランジェロの世界観を解説すると同時に、システィーナ礼拝堂を陶板上に再現した際のエピソードなどをお聞きいただける、またとない機会です。

みことばの祭儀

16:20~16:45

駐日教皇大使 ジョゼフ・チェノットウ 大司教
カトリック大阪大司教区 池長 潤 大司教
カトリック大阪大司教区 松浦 悟郎 補佐司教

チェノットウ大司教・池長大司教・松浦補佐司教による天井画完成500周年を祝う式典。ミケランジェロを讃え、また礼拝堂の本質を体感できる貴重な時間をお過ごしください。



ジョゼフ・チェノットウ



池長 潤

テレマン室内オーケストラ・ テレマン室内合唱団による コンサート

17:00~18:30

礼拝堂は音楽との関わりも深いものがあります。1963年、延原武春によって結成されて以降、テレマン室内オーケストラとテレマン室内合唱団はこれまでに数々の賞を受賞してきました。定評ある上質な音楽をこころゆくまでお楽しみください。



※当日、登壇者が変更となる場合もございます。あらかじめご了承ください。

システィーナ・ホール

 大塚国際美術館
OTSUKA MUSEUM OF ART

共催：神戸バイブル・ハウス友の会

住所：徳島県鳴門市鳴門町(鳴門公園内) TEL.088-687-3737
開館時間：9時30分から当日に限り20時まで ※入館は19時まで
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)
入館料：小・中・高生 520円 / 大学生 2,100円 / 一般 3,150円